

平成 30 年度第 1 回自動車整備技能登録試験〔実技試験〕

第 97 回〔二級ガソリン自動車〕

平成 31 年 1 月 20 日

21 問 題 用 紙

受験番号	受験地		回数		種類		番 号				氏 名		※
			9	7	2	1							

※試験説明で
指示された
者のみ記入

【試験の注意事項】

1. 受験票又は受付番号票に記入してある受験番号及び氏名を，該当欄に思考席で記入してください。
2. 各問題の確認結果，測定結果及び解答は，問題用紙の該当欄に記入してください。ただし，**思考席**では記入しないでください。
3. 故障を設定している問題については，問題中に特段の指示がない限り，**重複故障はないもの**とします。
4. 試験中，各部品は，台上で点検等を行ってください。
5. 問題用紙の余白部分には，自由にメモすることができます。
6. 試験終了後，この問題用紙を回収します。

【不正行為等について】

1. 携帯電話等の電子通信機器類は，試験会場に入る前に必ず電源を切って，カバン等に入れておいてください。
2. 試験時間中（試験会場内）において，携帯電話等の電子通信機器類を使用した場合は，不正の行為があったものとみなし，試験を停止し，又は，その試験を無効とすることがあります。
3. 登録試験に関して不正の行為があったときは，当該不正行為に関係ある者について，その試験を停止し，又は，その試験を無効とすることがあります。

この場合において，その者について，3 年以内の期間を定めて登録試験を受けさせないことがあります。

問題 1 台上にある、フォワード・クラッチについて、次の各問に答えなさい。

なお、必要事項は、台上の留意事項に示してあります。測定は、台上にある計測機器を用いて行いなさい。

問 1 リテーニング・プレートとスナップ・リング間のすき間を複数箇所測定し、測定値の最大値を下表の該当欄に、小数点以下第 1 位まで記入しなさい。

次に、リテーニング・プレートとスナップ・リング間のすき間について、留意事項に示す限度値から良否を判定し、何れかを○印で囲みなさい。

項 目	測 定 値	判 定
リテーニング・プレートと スナップ・リング間のすき間	mm	良 ・ 否

問 2 フォワード・クラッチをマイナス・ドライバを用いて分解し、ドライブ・プレート及びドリブン・プレートの厚さを複数箇所測定し、測定値の最小値を下表の該当欄に、小数点以下第 2 位まで記入しなさい。

次に、ドライブ・プレート及びドリブン・プレートの厚さについて、留意事項に示す限度値から良否を判定し、何れかを○印で囲みなさい。

項 目	測 定 値	判 定
ドライブ・プレート A	mm	良 ・ 否
ドリブン・プレート B	mm	良 ・ 否
ドライブ・プレート C	mm	良 ・ 否
ドリブン・プレート D	mm	良 ・ 否

問 3 次に、このフォワード・クラッチを AT に組み付けた場合に想定される事象について、最も適切なものを一つ選び、番号を解答欄に記入しなさい。

1. ライン・プレッシャが基準より低い
2. ライン・プレッシャが基準より高い
3. 特定のレンジでストール回転速度が基準より低い
4. 特定のレンジでストール回転速度が基準より高い

解 答

問題 2 台上にあるリレーを使用したランプ点灯回路について、次の各問に答えなさい。また、リレーを使用したランプ点灯回路には不具合が発生しています。なお、必要事項は、台上の留意事項に示してあります。測定は、台上にある計測機器を用いて行いなさい。

問 1 ランプ点灯回路のスイッチを操作したときの、1～13 の各測定端子と測定端子 14 間の電圧を測定し、測定値を下表の該当欄に小数点以下第 1 位(小数点以下第 2 位を切り捨て)まで記入しなさい。

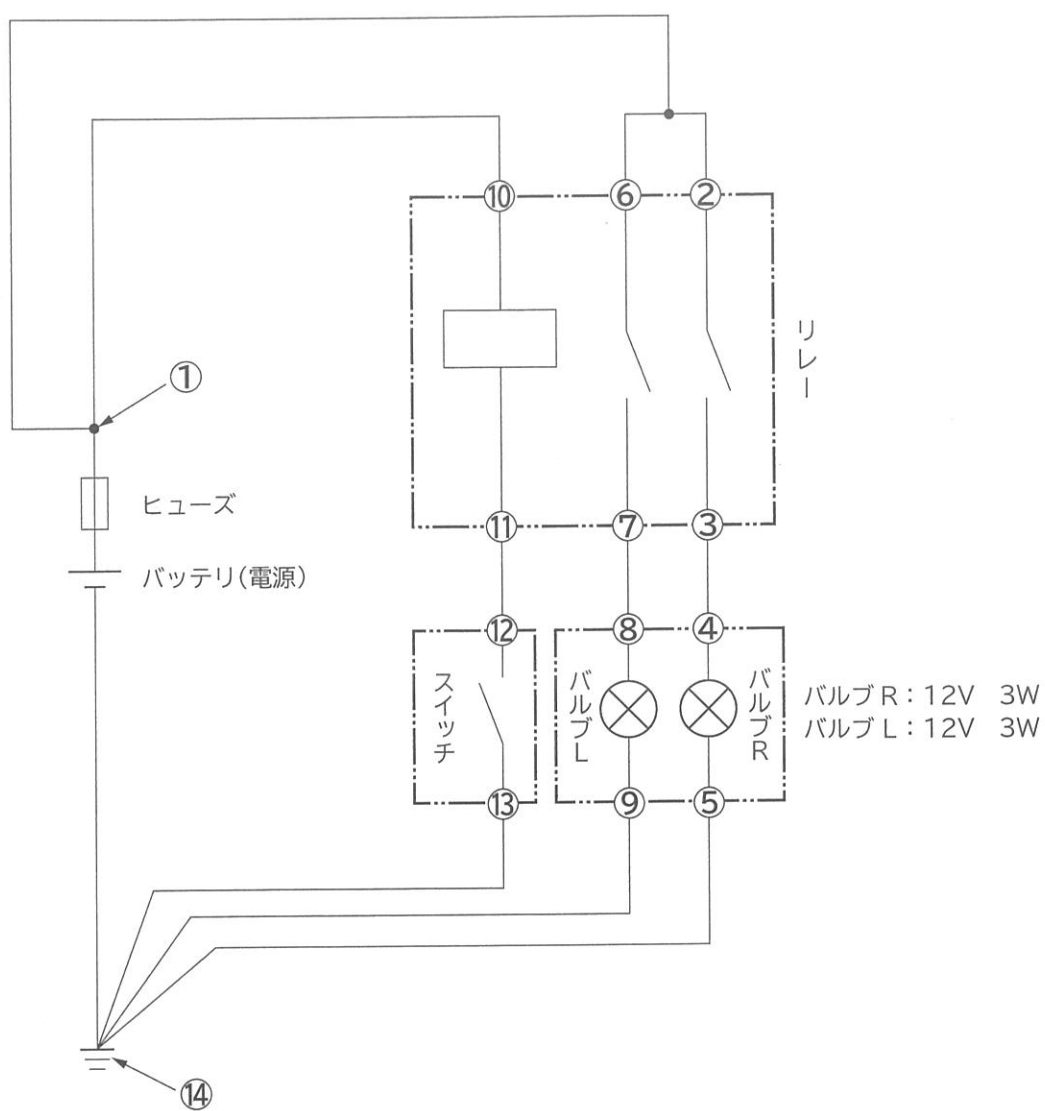
測定端子	測定値		測定端子	測定値	
	OFF	ON		OFF	ON
端子 1	V	V	端子 8	V	V
端子 2	V	V	端子 9	V	V
端子 3	V	V	端子 10	V	V
端子 4	V	V	端子 11	V	V
端子 5	V	V	端子 12	V	V
端子 6	V	V	端子 13	V	V
端子 7	V	V			

問 2 測定結果から、不具合箇所を絞り込み、不具合状態を特定して解答欄に記入しなさい。
不具合箇所の解答は、下表の記入例に沿って配線の場合には、回路図の中の番号を選んで記入し、部品の場合には、名称の何れかを○印で囲みなさい。

また、不具合状態の解答は、二つの中から一つを選んで○印で囲みなさい。

	不具合箇所		不具合状態
記入例	配線の場合	端子 3 と 端子 4 の間	断線 ・ 短絡(地絡)
	部品の場合	リレー スイッチ バルブ L バルブ R	断線 ・ 短絡(地絡)
解 答	配線の場合	端子 と 端子 の間	断線 ・ 短絡(地絡)
	部品の場合	リレー スイッチ バルブ L バルブ R	断線 ・ 短絡(地絡)

〈ランプ点灯回路図〉



問題 3 台上にあるクランクシャフト及びコンロッドについて、次の各問に答えなさい。

なお、必要事項は、台上の留意事項に示してあります。測定は、台上にある計測機器を用いて行いなさい。

問 1 第 2 シリンダのクランク・ピンの外径を測定し、測定値を下表の該当欄に小数点以下第 2 位(小数点以下第 3 位を切り捨て)まで記入しなさい。

次に、留意事項に示す限度値から良否を判定し、何れかを○印で囲みなさい。

項 目	方向	測 定 値	判 定
クランク・ピン外径	A	mm	良 ・ 否

問 2 コンロッドの大端部の内径を測定し、測定値を下表の該当欄に小数点以下第 2 位(小数点以下第 3 位を切り捨て)まで記入しなさい。

次に、留意事項に示す限度値から良否を判定し、何れかを○印で囲みなさい。

項 目	方向	測 定 値	判 定
コンロッドの大端部の内径	B	mm	良 ・ 否

問 3 これまでの結果から、留意事項に示すコンロッド・ベアリングを組み付けた場合のオイル・クリアランスを求め、小数点以下第 2 位(小数点以下第 3 位を切り捨て)まで記入しなさい。

解 答
mm